

2020年12月14日
一般社団法人日本船主協会

内藤会長による海上保安庁長官への訪問について

12月11日、内藤会長、中島常勤副会長、森重理事長、他2名が海上保安庁を訪れ、海上保安庁長官に対し、海賊対処行動に対する感謝の意を伝えました。

日本船主協会では、例年、ジブチに代表団訪問ならびに東京での海賊対処行動感謝の集いを開催しておりますが、今年は、あいにくの新型コロナウイルス禍の情勢のため、止む無く中止いたしましたことから、今回の訪問となりました。

初めに、内藤会長より、我が国の外航海運業界を代表して、奥島高弘長官に対して感謝の言葉を述べたあと、海上自衛隊の護衛艦に同乗し、現場でご活躍頂いた海上保安官の皆様への感謝状を手渡しました。

長官は、来訪についての謝意が伝えられたあと、公務でやむを得ず退席されましたが、その後、伊藤裕康海上保安監、橋本昌典警備救難部国際刑事課長、大河内克朗国際刑事課海賊対策室長、小林宏樹海賊対策室上席海賊対策官との懇談の場が設けられました。

懇談では、伊藤海上保安監が海賊対処行動第一次隊の激励のために空路でジブチを訪問された話のほか、海上保安庁が東南アジアで行っているキャバビル活動やシーレーンの確保にまで話が及びました。

最後に、会長より、来年は、コロナ禍が収まっていれば、例年通り、ジブチ訪問と感謝の集いを行いたいとの思いをお伝えいたしました。



奥島長官に感謝状を手渡す内藤会長



懇談の様子